

光音響分光法をもちいた半導体微粒子の評価

村上直也 准教授 (九州工業大学)



2015年3月9日 (月) 15:00—16:00

創成科学研究棟3階セミナー室D

<http://www.cat.hokudai.ac.jp/access.html>

半導体微粒子はそのサイズ効果に由来する特性を期待することができるが、そのままの状態では電子や正孔の挙動を捉えることは容易ではない。これまで我々は、微粒子の光吸収評価に有利な光音響分光法 (PAS) を改良し、半導体微粒子に適用することにより、半導体中の励起電子の挙動を抽出することに成功している。本講演ではPASによる半導体微粒子評価における講演者の取り組みを紹介する。

問合せ先： 触媒化学研究センター・大谷文章 (ohtani@cat.hokudai.ac.jp/011-706-9132)

《講演者略歴》2007年3月 北海道大学地球環境科学研究科物質環境科学専攻修了 (地球環境科学博士) /2007年4月 九州工業大学大学院工学研究院助教/2012年11月～ 九州工業大学大学院工学研究院准教授/2013年4月～ 九州工業大学生命体工学研究科准教授 (協力講座) /2014年4月北海道大学触媒化学研究センター客員准教授 (機能性プラズモン粒子研究クラスター)